

着衣泳

7月15日6年生児童が着衣泳を実施しました。日本水難救済会よりインストラクターの方に来ていただき、服を着たまま水の中に入るとどんな風に感じるのかを体験したり、水難事故にあったときに気を付けることを教えていただいたりしました。気を付けることは「呼吸」「浮く」「進む」の3つだそうです。服に空気を入れて浮く方法や、ビート板を足にはさんで浮く方法を体験しました。また、ライフジャケットを着て、水の中を進む体験もしました。6年生児童は「服を着たまま水に入るのは、水着と違って泳ぎにくい。」「呼吸を確保して進むのは難しい。」と話していました。

